

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2005-189444(P2005-189444A)
【公開日】平成17年7月14日(2005.7.14)
【年通号数】公開・登録公報2005-027
【出願番号】特願2003-429568(P2003-429568)
【国際特許分類】

G 0 2 F 1/17 (2006.01)

C 0 8 L 5/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

G 0 2 B 1/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/17

C 0 8 L 5/00

C 0 8 L 101/00

G 0 2 B 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月29日(2007.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0112

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0112】

このIPNゲル粒子を大量の純水に加えて膨潤させた。温度、10における平衡膨潤状態の吸水量は約3g/gであった。ところが、これを50に加熱するとさらに膨潤し、約80g/gの吸水量を示すことがわかった。また、相転移点は30-40の温度範囲にあった。つまり、相転移点よりも高温では膨潤し、低温では、収縮する。この変化は可逆的であり、膨潤・収縮によって粒子の粒径は約3倍、すなわち体積で約27倍の変化が得られた。膨潤液として、ポリアクリル酸(M.w.250000)0.2質量%、エチレングリコール3.0質量%の水溶液を用い、3質量%のゲル分散液を得た。